

つながる心・広がる力
JAあおぞらが贈る情報マガジン

喜楽

2015. April Vol. 13

あおぞら 改革特集

今こそ、
真の協同組合へ

今回は政府が進める農協改革に対して協同組合の現状を正しく認識した上で地域農業と地域社会を衰退させないようJAあおぞらとして取組の方向性について掲載いたします。

協同組合と株式会社との違い

	協同組合	株式会社
目的	組合員の生産と生活を守り向上させる (非営利目的)	利潤の追求(利益の追求)
組織者	農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小規模の事業者など(組合員)	投資家、法人(株主)
事業、利用者	事業は根拠法で限定、事業利用を通じた組合員へのサービス、利用者は組合員	事業は限定なし、利益金の分配を通じた株主へのサービス、利用者は不特定多数
運営者	組合員(その代表者)	株主代理人としての専門経営者
運営方法	1人1票制 (人間平等主義に基づく民主的運営)	1株1票制(株主による運営支配)

協同組合は、一人ひとりでは経済的に弱い立場にある人が集まり、相互扶助の精神の下、協同して事業を

相互扶助の精神で成立

●協同組合とは



進めて自らの経済的・社会的地位を高めていこうとする自立的な組織です。19世紀にヨーロッパで資本主義社会の成立とともに誕生し、世界各地に広がりました。

協同組合と株式会社では、設立の基本的な考え方や運営が大きく異なります。協同組合の目的は組合員の生産や事業、生活を守ること、利潤の追求ではありません。

一方、株式会社は利潤の追求が目的で、株主にできるだけ多く配当することが求められています。

また、協同組合は、組合員が事業の利用者であり、運営者でもあることが特徴で、組合員のニーズに応じて事業を展開します。一方、株式会社の運営は、株主の所有する株数に応じた議決権で決まります。

一人は万人のために、万人は一人のために。協同組合はその精神の下、地域の振興や災害復興の支援といった市場原理だけでは解決が困難な問題にも、大きく貢献しています。

地域に根ざした活動展開

●JAの役割と機能



JAは、農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織されました。この目的のために、営農指導から生活事業まで、総合事業体として組合員にサービスを提供してきました。生産資材・生

活資材の共同購入や農畜産物の共同販売、貯金の受け入れ、農業資金の融資や共同利用施設の設置、万が一の事態に備える共済などの事業や活動を行っています。

農村部の少子高齢化に合わせ、JA



JAあおぞらの総合福祉センター

が福祉事業に取り組みことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを実現しています。近年は健全な食と農を次世代につなげようと、青年部や女性組織などを中心に食農教育も盛んです。

現在、日本では行き過ぎた市場原理主義により、格差社会の拡大と地域経済の疲弊に拍車がかかっています。農業・農村にかかる課題は多くありますが、地域に根ざした組織としての役割がJAに一層求められています。

J Aあおぞらの挑戦

農家所得向上へ

J Aあおぞらは農家の所得向上のため、様々な取組みに挑戦しています。

園芸事業部門は昨年12月に6次化加工センターを新設し「干し芋」の製造を開始しました。同センターは、食品加工場として室内で芋を加工する為、従来の天日乾燥による干し芋製造からすると、天候に左右されず、衛生的かつ安定した製造が可能な施設になっています。

志布志市において原料生産から商品の製造・販売まで行い、新たな「干し芋」の産地を目指しながら、将来的に様々な食品を加工できる施設として、新たな事業展開を目指していきます。



干し芋（6次化商品）

お茶のハラール認証取得

茶葉部門は、茶価の低迷による新たな販路開拓の為に、昨年9月にハラールジャパン協会より、有明茶の「ハラール認証」を取得しました。アルコールを飲むことを禁止されているので、お茶（緑茶、紅茶、ウーロン茶等）の消費量上位国にはイスラム圏の国々がズバリと並んでいます。（日本は17位）J Aあおぞらは今後中東諸国への有明茶販売を目指していきます。

その他、お香の日本香堂とのコラボ商品展開や、裏作としての大麦若葉の生産にも取り組んでいく予定です。

J Aあおぞらの取組

地域貢献活動

J Aあおぞらは地域の皆様にも貢献していきたいと考えています。昨年は3回目となる「地域ふれあいイベント」を本所で開催し、多数の地域の方々にご来場頂きました。

J A共済メインキャラクターの「アンパンマン」による交通安全ショーや宇都中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏、マジックショーや女性部・青壮年部の方々



地域ふれあいイベント

による屋台など、地域の皆様ともしっかりとふれあい、より身近な存在となっていきたいと取組をすすめています。

また、7月に県下J A統一のボランティア活動に取り組みました。有明町民グラウンド周辺の清掃など、役職員一体となって取り組んでいます。



有明町民グラウンド周辺の清掃活動

JAあおぞらでは、幅広いお客様にお喜び頂ける 窓口サービスに努めています



金融事業



共済事業



購買事業



給油所

※ご注文・お問い合わせは
JAあおぞら 茶業センター

電話 099-475-2185 まで

～手軽でありながら、本格的な味わい～

JAのお茶屋さん
ちやちやつと

茶いっす

スプレッドライ製法により、
おいしさを瞬時に閉じ込めた
鹿児島優良産地のお茶に、
濃厚な水色と味が特徴の
「ゆたかみどり」、上品な高い香りと
旨味がある「おくみどり」をブレンドし、
色鮮やかでコクがあり、水にもお湯にも
よくとける商品に仕上げました。
新鮮な風味を保持するために
1杯分ずつスティック包装し、
鹿児島自慢のお茶を、いつでも、
どこでも手軽に味わえます。

※画像はイメージです

お湯にも
水にも
サッと溶けます。

5本入 200円
10本入 500円

鹿児島ならではの
新しいおもてなしを
ご提案します。

JAは協同組合だから組合員しか利用できない、JAだから農家しか利用できないと
考えている人は意外に多いようです。実際のところ、農家以外の方にとってはまだ
まだなじみ薄いのかも知れません。

JAは、農家でなくても、組合員の方でなくても、サラリーマンの方、主婦の方、老
若男女、どなたでもお気軽にご利用頂けます。

これからもJAあおぞらでは、地域の皆さんとの結びつきを大切にしながら、地域の
協同組合として、皆さんの夢や幸せ作りのお手伝いさせていただきます。

※業務の一部について、出資をして頂くことが条件となる場合があります。

発行元

あおぞら農業協同組合 企画管理課
〒899-7402

志布志市有明町野井倉1373-1

TEL 099-474-1211
FAX 099-474-1218